

**農業農村整備事業地区(石狩振興局発注)の『工事現場安全パトロール』を
実施しました～4工事現場の安全対策を入念にチェック～(主催者：石狩耕親会)**



- 石狩耕親会は、平成30年8月28日(火曜日)に石狩振興局が発注した農業農村整備事業地区の工事現場安全パトロールを実施した。パトロールには、主催者である石狩耕親会から宮永会長ら10人をはじめ、石狩振興局(渡辺産業振興部長、整備課職員、調整課職員)からは6人、札幌東労働基準監督署から渡邊安全衛生課長の計17人が参加した。
- 参加者は宮永建設株式会社が施工する「拓新地区43工区工事現場」、新昌建設株式会社が施工する「武田地区45工区工事現場」、株式会社沢田建設工業が施工する「中央北地区42工区工事現場」、草野作工株式会社が施工する「新美原地区81工区工事現場」の石狩振興局管内4現場をパトロールした。
- 各現場では現場責任者から工事の概要や進捗状況、安全対策の重点などの説明を受けたあと、参加者全員は、各工事現場の施工状況や今後の作業内容による災害発生リスク、現場内に労働災害を引き起こす危険な芽がないか、現場事務所にある作業計画書、安全日誌、当日の作業手順などの関係書類を、点検表に基づき適正であるかどうか細かくチェックした。
- 各現場のパトロール後の講評では、参加者からは「各現場ともに整理整頓・清掃が適正にされていた」「熱中症対策のために温度計が設置されていた」「現場事務所にある安全管理に関する全ての書類が適正に整理されていた」「安全に取り組むための工夫された安全掲示板があった」など、講評された。



現場内に潜む危険がないかチェックしている工事現場安全パトロールの様子



拓新地区43工区工事現場の客土工事



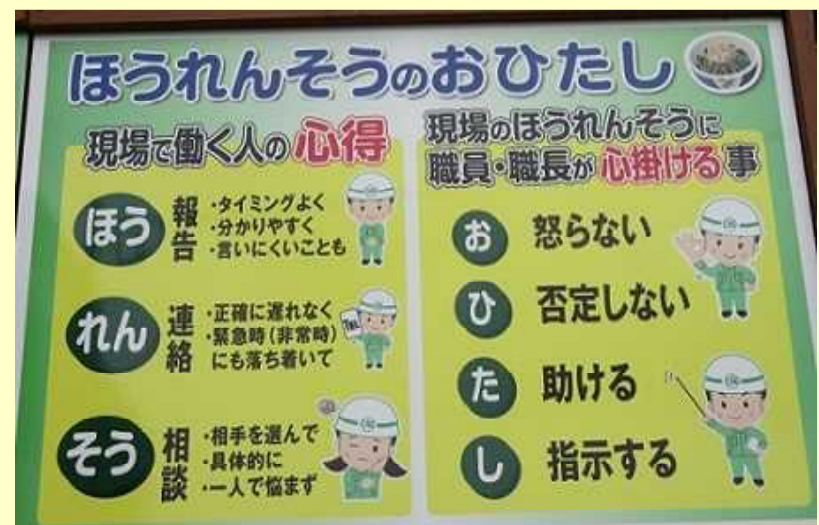
武田地区45工区工事現場の暗渠排水工事



中央北地区42工区工事現場の排水路工事



新美原地区81工区の関係書類をチェック



安全に取り組むための工夫された掲示であると講評があった安全掲示板